

自由学園創立100周年記念事業

2018年度「地球市民教育フォーラム」

自由学園の大学部である最高学部では、2018年度にフィールドサイエンス、ヒューマンサイエンス、データサイエンス、ライフスタイル、マネジメントの領域からなる研究体制を整え、新たな取り組みを始めます。世界に広がる様々な課題の発見と解決に向けて、従来の学問の枠を超えたアプローチを目指します。2018年度の地球市民教育フォーラムはこの取り組みと連動して行います。

第11回 2019年2月16日（土）（10:40~12:20 自由学園記念講堂）

長 有紀枝（おさ ゆきえ）氏（立教大学教授）

「冷戦後の国際社会にみる、紛争と和解・共生の取り組み」

平成の時代が終わろうとしています。メディアを中心に平成を振り返る様々な特集が組まれています。国際的には、冷戦が崩壊し、民族紛争やテロ、難民問題をはじめ、地球規模の様々な課題が噴出した30年でもありました。このフォーラムでは、紛争にまつわる国際社会の和解・共生の取り組みを切り口に、私たちが生きている時代と、今私たちにできることを皆さんとともに考えてみたいと思います。



講師プロフィール

研究分野：人間の安全保障、国際人道法、ジェノサイド研究、平和構築、移行期正義

〔現職〕立教大学社会学部・大学院21世紀デザイン研究科教授

国際協力NGO「難民を助ける会」理事長

国連訓練調査研究所（UNITAR）理事

〔職歴〕「難民を助ける会」専務理事・事務局長

認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム理事・共同代表などを経て現職

著書・論文

『地雷問題ハンドブック』（自由国民社 1997）、『スレブレニツァ あるジェノサイドをめぐる考察』（東信堂 2009）

『入門 人間の安全保障～恐怖からの自由を求めて』（中央公論新社2012）

「旧ユーゴスラビア戦争法廷が遺したもの - 24年の正義と分断」『世界』2018

「21世紀の難民問題」『国際問題』2017、「人道支援における『独立』概念をめぐる一考察」『人道研究ジャーナル』2017

「難民・国際避難民と内戦と」『広島平和研究』2017

「スレブレニツァで考えたこと - ボスニア紛争、デイトン和平合意がといかけるもの」『世界』2016

「難民が来ない国の難民鎖国～このままでいいのか」『世界』2018

参加費：1,000円（当日受付でお支払いください）

申込み：自由学園ホームページにて 1/7 より受付 ※web申込みが難しい場合は下記FAXにてお申込みください。

お申し込み内容ご記入欄（切らずにFAXしてください） FAX:042-422-1105

お名前	様	電話番号	() -
ご住所	〒		参加人数 名
email		@	
自由学園との関係	保護者・同学会・女子部卒業生・卒業生保護者・友の会・その他 ()		